



# 国立病院機構沖縄病院

## 連携室ニュース

### 基本理念

患者さまの立場を尊重し  
高度で良質の医療を提供します。

2014.3.1 No. 78号

独立行政法人

国立病院機構沖縄病院

地域医療連携室

沖縄県宜野湾市我如古3-20-14

電話 098-898-2121

Fax 098-898-6433

## 新任医師紹介

### 神経内科医師 城戸 美和子



出身大学 : 愛媛大学

前任施設 : 愛媛大学病院

専門分野 : 神経内科専門医

コメント : 結婚・出産を機に約6年間臨床現場から離れておりましたが、この度御縁があり沖縄病院で再度臨床医として復帰する機会に恵まれました。

患者さんにとって常に最も良い治療を提供出来るよう心掛けて日々精進して参ります。ご指導、ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

## 沖縄病院 神経内科医師紹介



城戸 美和子

中地 亮

大山 徹也

末原 雅人

藤崎 なつみ

諏訪園 秀吾

吉田 剛

---

## 沖縄病院 呼吸器外科手術統計（2013年）

---

### 呼吸器外科領域（218例）

1、良性肺腫瘍手術例	6例
2、肺癌手術例	113例
扁平上皮癌	23
腺癌	76
大細胞癌	3
腺扁平上皮癌	2
多形癌	4
カルチノイド	2
3、転移性肺腫瘍手術例	15例
4、縦隔腫瘍手術例	15例
5、重症筋無力症に対する胸腺摘除	2例
6、炎症性疾患に対する手術	9例
7、嚢胞性肺疾患手術	24例
気胸に対する手術	23
巨大肺嚢胞	1
8、気管狭窄拡張術	10例
ステント留置	6
ステント抜去	4
9、V生検	6例
10、膿胸	3例

---

#### 【特徴】

- ・肺がんに対する手術が急増：年間100例を突破しました
- ・肺腺癌の増加傾向が著明：検診（健診）で発見できる肺がんです
- ・化学療法後の残存転移性肺腫瘍に対する手術増加：整形外科領域癌、肉腫
- ・自然気胸の手術増加：再膨張性肺水腫に注意が必要です
- ・胸腔鏡による手術の増加：痛みのない、傷が目立たない手術です

#### その他

---

筋・神経生検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17例

---

麻酔：全身麻酔	247例
伝達麻酔	6例
局所麻酔	67例

気管支鏡検査	308例
消化管内視鏡検査	921例
上部	487例
下部	420例
ESD	8例
ERCP	1例

気管支動脈塞栓術	1例
----------	----

【お知らせ】

- ・筋・神経生検で正確な診断：神経内科医7名で診療が行われています。
- ・麻酔専門医による術後疼痛管理が行われています。
- ・気管支・消化管内視鏡による検査および治療も行われています。
- ・消化器総合検査（上部・下部消化管・腹部超音波）も好評です。
- ・ピロリ菌は駆除しましょう。

乳腺外来のご案内

この胸の“しこり”はなんだろう？

20人に1人の女性が乳がんを発症すると言われていています。しかし、乳がん検診を受け、早期に発見さえすれば乳がんは決して怖くない病気なのです。当院では**乳腺外来**をっております。検診を受けてみませんか？  
 （マンモグラフィー検査は女性技師が行っております）



\*月曜日の診療を追加いたしました。

受付：国立病院機構沖縄病院 外科外来  
 受付時間：9:00～17:00  
 診療日時：月 14:00～17:00（予約制）  
                   火 13:00～17:00（予約制）

## 第37回宜野湾市交通安全キャンペーン市内一周駅伝大会に参加して

平成26年1月25日（土）、沖縄病院チームとして第37回宜野湾市交通安全キャンペーン市内一周駅伝大会に参加しました。参加は、交通事故のない宜野湾市を目指し全市民に呼びかけ、交通安全思想の高揚と悲惨な交通事故防止をアピールすることが主な目的です。

主催は宜野湾市と宜野湾市交通安全推進協議会でした。当初14名（1チーム14人・一人の走る距離500m～1300m）の走者が集まらないのではと心配していました

が、沖縄病院には数名の那覇マラソン参加者もあり、意外と早くに14名の参加者を集めることができました。さて、次に当日の手配です。「ユニホームやゼッケンはどうしましょう？」と相談したところ、事務部長が一発OK！「選手の送迎はどうしよう？」経営企画室長が「任せなさい！」

当日の応援団はどうしよう、応援グッズはどうしよう？神経内科医の藤崎先生・緩和ケア認定看護師の奥間さんが積極的・・・、「どんなするの？のぼり旗はあるの？無ければわたし（藤崎先生）が作ります」とIT管理室協力のもと、手作りのぼり旗2本（黒・赤）ほんの2時間で作製。応援用の小旗は医局の松元さんから20本「出来たから」とぼいと渡されました。

準備万端の当日、私の日頃の行いか？天気よし・体調よし、絶好のマラソン日よりでした。沖縄病院のぼり旗を抱えて、友利師長スタート・次・次とたすきが渡されていきました。

一方副院長・副看護部長率いる応援団は、我如古十字路にて待機。先頭走者通過するも、当院走者なかなか来ず・・・。

走者の皆さん、応援団のみなさん、お疲れ様でした。当院の気になる順位は42位（52チーム参加中）でした。来年の参加があやぶまれますが、継続は力なりを実践して行けたらと思います。またそうすることで認知度が高まるのではないのでしょうか。みんなで頑張りましょう。

